津山高校
第14号
県南クラブ
2008年7月30日発行
津山高校同窓会
岡山県南支部会報

平成19年度 支部総会を開催

新支部長に草野さん（昭和31年卒）

津山高校同窓会岡山県南支部の平成19年度総会・懇親会が昨年11月10日、岡山市駅元町のラヴィール岡山で開かれました。

当日は支部会員ら約150人が出席。同窓会本部から牧山政雄会長（昭和38年卒）ら、母校からは廣本勝裕校長（46年卒）らにご出席いただきました。

産賀敏彦支部長（28年卒）、牧山会長、廣本校長のあいさつの後、産賀支部長を議長に議事が行われ、17年度と18年度の活動報告、収支決算報告＝５ページ参照＝が原案通り承認されました。任期満了に伴う役員改選も行われ、産賀氏の後任支部長に草野功氏（31年卒）が選ばれました。

総会議事に続き、「ビオラとピアノの調べ」の演奏が行われ、杉山みゆきさん（52年卒）のビオラ、後藤正子さん（42年卒）のピアノによる「ドナウ川のさざなみ」などの名曲を楽しみました。演奏の終わりには同窓会本部事務局次長の秋山貴先生（音楽担当、45年卒。現在、本部事務局長）のリードで、「花」や「浜辺の歌」を全員で斉唱。懇親会に向けムードを高めました。

懇親会では、２年ぶりの再会に談笑の輪が広がりました。同好会のメンバーによる活動紹介、アトラクションとしてビンゴゲームも行われ、年代をこえた交流で大いに盛り上がりました。

次回の総会は来年となります。会員の皆さん、ぜひご参加ください。

草野支部長を除く主な役員は次の皆さんです。

（敬称略）

- ●副支部長　斎藤和子（33年卒）、藤井邦昭（38年卒）＝以上新任
  小野温子（28年卒）、米戸金男（29年卒）＝以上再任
- ●代表幹事　筆保博文（34年卒）＝再任
- ●副代表幹事　保住長男（38年卒）＝新任
  後藤正子（42年卒）＝再任

この日の出席者で最高齢の稲谷緑子さん（昭和15年卒）

混乱する医療、介護の現場

支部長　草野　功

盛夏の候、県南支部同窓の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年４月、産賀敏彦前支部長の突然の訃報に接し、大変驚くと同時に深く哀悼の意を表します。ある会合で川崎医療福祉大学の小池将文副学長（津高同窓、昭和40年卒）と同席し、産賀前支部長の消息を聞いたところ、入院されているようですが、最近は個人情報保護法により、状況は、良く分からないとのことでした。訃報はそれからしばらくたってのことでしたのでびっくりした次第です。

産賀先生のことに関しては、高校・大学と同期の後藤勇先生が詳しく追悼文に書かれるようです。３学年下の私自身は岡大入学以来、北津寮、医学部剣道部でお世話になり、また、岡大医学部長を務められていたとき、私も岡山市医師会長をしており、いろいろな会合でご一緒する機会があり、在りし日の産賀先輩を思い出します。日本の平均余命からしても、少し早すぎるようで誠に残念であります。

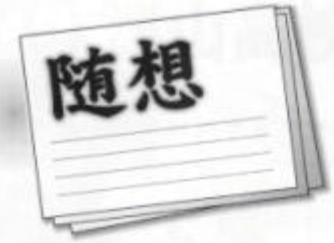
ところで、本年４月から医療福祉関連の制度が一部変わりました。特定健診、特定保健指導、広域連合組織による後期高齢者保険制度の発足などであります。小泉内閣の骨太改革により、厚労省関連の2,200億円予算削減の至上命令で、保健医療福祉予算は毎年必要額が獲得できず、医療や介護の現場は混乱してきております。健康を含めた社会保障費は他の分野と同じような経費の削減はすべきものではないと思います。

医療現場を無視した医療費削減のための療養型病床の急激な削減は介護難民を生む可能性があり、介護の現場では、あまりにも低い人件費による介護職員離職など問題は山積しております。過酷な医療の現場、医師の偏在、医師不足のため急遽、医学部定員増など必要にせまられるはめになりました。

小泉内閣の経済優先主義が多くの弊害を生んでいる結果であり、今後、どれだけ修正ができるか。自民党・福田内閣の命運は次の総選挙の成否にかかっていると思います。

これからの皆様方のご健勝、ご活躍を期待しつつ筆を下ろします。

（くさの・いさお。昭和31年卒）



津山高校の近況ご報告

津山高校 校長　廣本　勝裕

岡山県立津山高等学校同窓会県南支部の皆様には、平素から、本校教育活動の充実・発展に、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

母校の近況につきましては、現在、国・県の研究指定事業を意欲的に推進し、教職員が指導力の一層の向上に努めるとともに、保護者の皆様と協力しつつ、新たにコーチングの手法を取り入れ、教育指導の各場面で活用するなど、生徒の持つ能力と学力を最大限に伸ばすための取り組みを進めております。

その結果、近年は、特に進学実績において大きな躍進を遂げており、この春の大学入試結果につきましても、卒業生321名の6割に当たる187名が、東京・京都などの難関大学をはじめとする国公立大学に現役合格し、早慶、関関同立等の難関私立大学につきましても、例年同様、多数の生徒が合格を果たすなど、めざましい成果を上げております。

生徒総会

部活動においても、今年6月現在の入部率は92%にのぼり、剣道部（男女団体）の中国大会出場、弓道部（個人）の全国大会出場をはじめ、美作総体でも男女ともに総合優勝を果たすなどの優れた実績をあげております。

しかしながら、現在、県北では過疎化や少子化に伴う生徒数の減少により県立高等学校の再編整備が進むとともに、美作学区全域から優れた資質を持つ生徒が入学を希望する本校におきましても、募集学級の減が続き、昨年度からは、普通科6・理数科1の合計7学級・280名の学年規模となっています。

このような状況もありますが、学校運営の改善を進め、活力ある学校づくりを発展させるべく、理数科の課題研究の充実や、第1学年の「テーマ学習」、第2学年の「弁論大会」の新設など、魅力ある教育活動の開発並びに広報活動の推進にも鋭意努めているところであります。

同窓会からは、一昨年度の校訓記念碑の整備、昨年度の旧本館における教育資料の整理保管ケースの整備など、多くのご支援を賜っており、この4月には、「津山高校百年史」（上・下2巻）の略史を「精華」と題して刊行させていただきました。同窓会会員各位にもご一読賜れば幸いです。

特に、今年度は、同窓会のご支援により、9月19日の創立記念日に、ノーベル物理学賞を受賞された東京大学特別栄誉教授の小柴昌俊先生の講演をいただくことになりました。同窓会の皆様のご高配に心から感謝申し上げます。

今後も、未来を拓く優れた人材育成に全力を尽くしてまいりたいと教職員挙げて決意しておりますので、変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げまして、ご報告とさせていただきます。

（ひろもと・かつひろ。昭和46年卒）

前支部長 産賀敏彦君のご逝去を悼む

後藤　勇

謹んで産賀敏彦君のご逝去を会員の皆様と共にお悔やみいたします。

鏡野の奥から舗装されてない片道1時間余りの悪路を自転車通学していた彼は、バイオリンのケースを提げて登校する僕を追い越すことが度重なるうちに僕を知るようになり、僕は3年生のとき英語の模擬試験で珍しく良い成績をとって、しかも彼と同じ点数だったものだから、彼と並んで注目を集めた時から彼の存在を知るようになったのです。

彼は敗戦直後の貧困に喘いでいた田舎でジフテリアに罹り、一命を取り留めたものの四肢の麻痺が続いたために、1年間休学せねばならなかったし、高校時代に大学受験を間近に控えて父君が癌で亡くなるという悲運に遭うなどで、医療の貧困を痛感したことから、医学の道を志したのではないかと想像されます。

医学生の勉強は覚えなくてはならないことが多く、無味乾燥な講義にうんざりしたものです。しかし、産賀君はいつも几帳面にノートをとっていました。僕は迷惑を承知で気紛れに訪問しては胸襟を開いて話し込んだものですが、彼はいつも快く迎えて真面目に聴き、忠告もしてくれました。

語り尽くせない思い出を残して僕達の医学生時代が終わると、彼は大学院を受験して一番の成績で合格し、独り生化学を専攻しました。助手の籍を大学に置いたままの外国留学は僕の知るかぎりでは2年間が限度で、昭和42年から46年まで4年間もの米国留学が許されたことは前例がなく、彼の業績がいかに高く評価されたかを物語ります。

昭和56年、手強い対立候補を難なく制して次期教授に就任し、医学部教授会から推されて医学部長を務めた2年間は臓器移植にまつわる「医の倫理」をめぐって活発に議論されて大いに揺れた時代でした。

彼が学外では岡山県剣道連盟会長だったことも特筆しておかねばなりません。彼から表彰された会員の一人に僕の兄が居ることを彼は知らなかったし、兄も表彰状をくれた会長が僕の親友だったことを長い間知らなかったのです。

平成11年岡大を定年退官して川崎医療福祉大に移ってからも、13年には副学長の要職に就くなど地道な活躍を続けていたのですが、僕の知らない間に不幸な病にとりつかれて4月4日不帰の客となられました。闘病生活中も寝込むことなく仕事を続けていたそうで、「枯れ木が燃え尽きるような最期だったのです」と淡々と語る夫人のお言葉に慰められました。

（ごとう・いさむ。昭和28年卒）

昨年11月の県南支部総会・懇親会で、牧山政雄・同窓会本部会長（中央）と歓談される産賀前支部長（右。左は小野温子・副支部長）

平成17年度 収支決算報告

【収入の部】

(単位：円)

項目	金額	参考(15年度)	参考(増減額)	内容説明
総会等会費	968,000	1,528,000	▲560,000	●出席者会費 928,000円（@8,000円×116人） ●祝　金 40,000円（@10,000円×4人）
年会費収入	536,000	743,000	▲207,000	
広告収入	310,000	480,000	▲170,000	●@10,000円×31件
繰入金	700,777	574,963	125,814	●16年度からの繰越
雑収入	19	16	3	●郵便貯金利息
合計 (a)	2,514,796	3,325,979	▲811,183	

【支出の部】

(単位：円)

項目	金額	参考(15年度)	参考(増減額)	内容説明
総会等経費	1,414,274	1,371,070	43,204	●H17/7/10チボリ公園
印刷経費	302,850	1,076,032	▲773,182	注）15年度 会員名簿印刷（600冊）分含む ●「県南クラブ」第11号印刷代他
通信経費	353,923	226,470	127,453	●「県南クラブ」第11号郵送料他
同好会補助	85,000	85,000	0	@20,000円×4＋@5,000円×1
広告料	19,425		19,425	●ホームページ他
雑費等	142,673		142,673	●会議費、振込手数料他
合計 (b)	2,318,145	2,758,572	▲440,427	

【差引残額（a－b）】196,651円 ⇨ 次期への繰越金とする。

平成18年度 収支決算報告

【収入の部】

(単位：円)

項目	金額	参考(16年度)	参考(増減額)	内容説明
年会費収入	555,000	537,000	18,000	
広告収入	410,000	425,000	▲15,000	●@10,000円×41件
繰入金	196,651	567,407	▲370,756	●17年度からの繰越
雑収入	20,550	17	20,533	●支援金＋郵便貯金利息他
合計 (a)	1,182,201	1,529,424	▲347,223	

【支出の部】

(単位：円)

項目	金額	参考(16年度)	参考(増減額)	内容説明
印刷経費	276,848	305,465	▲28,617	●「県南クラブ」第12号印刷代他
通信経費	299,596	374,937	▲75,341	●「県南クラブ」第12号郵送料他
同好会補助	105,000	85,000	20,000	@20,000円×5＋@5,000円×1
広告料	48,703		48,703	●ホームページ他
雑費等	35,436		35,436	●振込手数料他
合計 (b)	765,583	765,402	181	

【差引残額（a－b）】416,618円 ⇨ 次期への繰越金とする。

監　査　報　告

「津山高校同窓会岡山県南支部」の平成17年度および平成18年度における経理内容について監査した結果、正確・適正に執行していることを確認したので報告します。

平成19年9月8日

監査委員　安東　醇 ㊞

監査委員　原　好子 ㊞

もしも鬘がなかりせば

杉山みゆき

私、津高生だった頃、早々と sin. cos. tan. に見切りをつけ、もっぱら授業中は居眠りにこれ努めていましたが、坂手先生の名調子の歴史の授業は楽しんでいました。今でもよく歴史物の番組を見ます。

音楽の世界とて歴史とは切り離せません。歴史に“もしも”という言葉はありませんが、それを想像すると、やはり面白い！

例えば、残虐の限りを尽くして世界制覇した蒙古人がいなかったら、今バイオリンはなかったかもしれません。羊の腸でできた弦を馬のしっぽの毛で作られた弓で弾く弦楽器、そのシュールな関係からも生いたちが草原にあることはわかります。ちなみに中国の「二胡」さんはいとこです。

弦楽四重奏でビオラを弾く筆者（右から２人目）

時代は日本でいう江戸時代のくだり、フランスのルイ14世があのクルクル巻毛鬘を流行らせていなかったら、音楽室に必ずあったバッハの肖像画はただのハゲオヤジの絵だったのかしら？　しかし、彼はスーパーオヤジだったので、彼がいなかったら、今のクラシック音楽はなかったでしょう。バッハといえばドイツ語で書かれた“カンタータ”という宗教音楽が多々ありますが、これも遡ること200年、ルターが彼の母国語であるドイツ語で布教活動をしようと思わなかったら、やはり今ではなかったかもしれません。

ところで、カンタータやベートーベンの第９交響曲「合唱」を歌われるコーラスの皆さん、ドイツ語は子音が命とばかりオーケストラにまでつばを飛ばさないでいただきたい。年末恒例の世迷言でした。

アメリカ大陸の発見はおいしい食物を世界中にひろめましたが、このことも、もしも発見されていなかったらどうなっていたでしょうか。シューベルトは弱冠31歳の若さで梅毒で死ななかったかもしれません。が、半面死を意識したが故にできた名曲も存在しなかったかも。ドボルザークもはるばるアメリカにわたって交響曲「新世界」を作曲しなかったかも。そうなると、オーケストラは集客が見込まれる曲を一曲失っていたことでしょう。はたまた学校の下校の時にかかっていた新世界の第２楽章はどの曲と入れかわっていたことでしょう。

などなど、想像をたくましくして一人楽しんでいる、おヒマなビオラ奏者の戯言でした。

（すぎやま・みゆき。昭和52年卒。
岡山フィルハーモニック管弦楽団員）

釣り同好会

“無理せず楽しもう”をモットーに、釣り同好会は年１～２回（主に春、秋）釣行を楽しんでいます。

昨年は、春に投げ釣りと昼食会（岡山市・西脇海水浴場）、秋には船釣り（小豆島）を楽しみました。

昨年11月の小豆島・千振島周辺での秋の釣り大会の様子。
イイダコも大漁、大漁!!

更に、暮れには釣り雑誌取材の申し込みが舞い込み、一同サヨリ釣りを計画し、張り切っていました。しかし、天候不順のため中止となり、残念でした。

今年の予定はまだ決まっていませんが、調整ができたら計画を支部ホームページに掲載します。参加希望の方は、ご連絡を。大歓迎です。

■連絡先は、
小森章二郎さん（☎兼086－270－2600）
中山　頼和さん（☎086－281－9066、兼086－282－0119）

いざよい社交ダンスクラブ

２年前に発足したこの同好会は、月２回の定例練習会を、岡山市表町３丁目「ダンススタディオ　カリヨン」で続けています。会員は今のところ40代から70代の８名ですが、和気藹々と練習に励んでいます。

全く初心で入会されたＳさん（前期高齢者）も、最近ではかなり踊れるようになりました。

社交ダンスは、音楽を聴きながら体を動かすことにより、体調の維持はいうまでもなく、認知症の予防にも最善のスポーツとされています。また公然と異性と接触することができるから、心の病も起こりません。さらに年齢を重ねても続けられますので、趣味としても最高のものであると、私どもも信じています。一方、費用もとても僅かです。

経験の有無、年齢・性別に関係なく、心と健康のために、一緒にダンスをしましょう。特に団塊世代の方々！

詳細は本誌上の広告または県南支部ホームページをご覧ください。　（中野茂生、昭和23年卒）

十六夜絵画クラブ

十六夜絵画クラブは毎月１回例会を行っています。

今年５月の例会は、花と緑の風景をもとめて野外スケッチを計画しました。

ところが前日から雨、朝の内には止むだろうと予定通り集合しましたが空模様はすっきりしません。それではと場所を変え、若者によく知られた岡山市内のカフェでコーヒーとケーキを囲む和やかな例会になりました（写真）。絵画クラブらしい話題が広がります。

岡山市内のカフェで歓談する絵画クラブ会員

ことし４月、ゴッホやセザンヌなどがよく絵を描いた南仏の地を回り、パリでルーブル美術館やオルセー美術館を訪れた３人の話や写真披露。また、平素から指導していただいている会のメンバー福島隆壽先生の貴重な資料を拝見するなど有意義な時間を過ごしました。

会を終えて外に出ると眩しい日ざしが降り注いでいましたが、スケッチとは一味違う美味い例会でした。

絵を描く、観る、喋る、趣味を通してさまざまなシーンが愉しい十六夜絵画クラブに興味のある方ご連絡ください。

■お問い合わせは、
筆保博文さん（☎086－279－7262）

いざよいゴルフクラブ

例会を年５回程度、岡山県内のゴルフ場で開いています。

次の第52回コンペは９月14日（日）、赤磐市の山陽ゴルフ倶楽部で開催予定です。参加希望者は富岡謙二さん（☎086－277－7864）まで、お問い合わせください。

最近の成績は下記の通りです。（敬称略）

開催回	場所	優勝	２位	３位
第47回(07. 5.29)	金陵CC	金財　吉子	三村　忠義	久保村美佐子
第48回(07. 9. 4)	山陽GC	内田　斉子	斎藤　和子	大内　宏之
第49回(07.12. 3)	鬼ノ城GC	山本　進	古川　克行	三村　忠義
第50回(08. 3.13)	山陽GC	原田　民子	水内　次男	富岡　謙二
第51回(08. 6.12)	岡山GC(桃の郷)	米井　澄近	阿井　道伸	定森　勝重

歩こう会

平成17年秋以降、活動が中断していましたが、今年４月５日（土）に再開初回となる通算29回目の歩こう会を開催。香川県直島へ行き、ベネッセ「地中美術館」などを回りました。

当初、３月30日を計画していたものの、あいにくの雨のため急遽中止とし日程を変更したため、参加者は５人となりました。

地中美術館は安藤忠雄さんが設計しています。自然と人間を考える場所としてつくられたという建物は、地中に埋め込んだような形で建てられており、内部の意表をつくようなデザイン、作品類も、一度の見学ではなかなか理解しがたいものを感じました。

今や直島が世界から注目を浴びるようになった直島プロジェクトの一つだけに、じっくりと時間をかけ、異空間にどっぷりと浸りながら見るのが良いのではないかと思います。

直島の帰り、道の駅みやま公園で産直品を土産としたところで解散しました。

今後とも、県内を中心に、数時間の歩きと温泉、産直品の購入という“３点セット”の例会を企画します。気軽に参加してください。

■問い合わせは、歩こう会世話人・蜂谷弘紀さんまで（☎086－284－2583）

カラオケ同好会

例会を２カ月に１回程度、岡山市内のカラオケ店で開いています。１回あたりの出席者は６～７人といったところです。昨年度は５回開催。当日の会費は１人980円です。

課題曲として、最近では「吾亦紅」「金沢の雨」などを取り上げました。

指導者はいません。みんな好きなように、和気あいあいと歌っています。

ご興味がある方は、会長の小野孝志さん（☎086－284－0045）まで連絡を。

産賀前支部長がご逝去

昨年11月まで支部長を務められた産賀敏彦さん（昭和28年卒）が今年４月４日、大腸がんのため、亡くなられました。74歳でした。

昨年の支部総会で挨拶される産賀さん

産賀さんは鏡野町出身で、津山高校から岡山大学医学部に進学。同大学大学院を修了の後、医学部長などを歴任されました。岡山大学を定年退官された後は、川崎医療福祉大学に移られ、副学長などを務められました。専門は生化学で、人間の健康に関わりが深い含硫アミノ酸「システイン」の研究で知られています。

岡山県剣道連盟会長、県武道振興会理事長なども務められ、武道の振興にも尽力されました。

県南支部では平成15年10月から４年間、支部長を務められました。

（４ページに28年卒同期・後藤勇氏の追悼文を掲載しています）

おくやみ（お名前、卒業年、死亡年月日の順）

大若　光枝さん（昭和28年卒）平成19年６月９日
池上　省三さん（昭和33年卒）平成19年７月４日
産賀　敏彦さん（昭和28年卒）平成20年４月４日

心からお悔やみ申し上げます。

この欄はご遺族、同期生から情報をいただき、会報掲載のご了解を得られた方のお名前を紹介させていただいています。訃報の情報がございましたら、支部事務局までご連絡をお願いいたします。

同窓会本部が冊子『精華』を刊行

希望者はご連絡を

津山高校の歴史を60ページ余にまとめた冊子「精華」が今年４月、同窓会本部から刊行されました。

創立100周年記念事業で刊行された「津山高校百年史」上下２巻は1,000ページを超え、なかなか全てに目を通すことが出来ません。その後に刊行された「110周年記念誌」も残部がすでにありません。

今回の「精華」は百年史の要点をまとめた手軽に読める実用的な冊子になっています。B5判、66ページ。１部200円です。

刊行された「精華」

県南支部幹事会ではこの冊子を入手希望の方にまとめて取り寄せます。ただし、手渡しできるのが原則です。８月20日までに申し込んでください。

■お問い合わせ・申し込み先は、筆保まで。
☎086－279－7262 または メール fudeyasu@cyber.ocn.ne.jp で。

会費納入のお願い

- 県南支部の活動は会費（年額1,000円）によって支えられています。５ページの支部収支決算報告をご覧ください。
- 会費は会報「県南クラブ」の印刷・郵送費のほか、会員の相互親睦を図る活動に充てられています。
- 納入は任意です。趣旨にご賛同いただける方は会報と一緒にお送りしております郵便振込用紙で納入をお願いいたします。

県南支部の最新情報は支部ホームページで。
アドレスは http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/
「岡山県南支部」で検索してください。

津山高校同窓会岡山県南支部会報
「県南クラブ」第14号
2008年７月30日発行
発行人　草野　功　　編集人　片山淑雄
発行所　津山高校同窓会岡山県南支部
〒700-0816
岡山市富田町2-12-16 センチュリー富田町602号
ソーケン・プランニング内
TEL. 086-225-8607 FAX. 086-225-8600
E-mail soken@mxt.mesh.ne.jp
URL http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/